

## 使用上のご注意

良好な使用状態を保つため、また市場でのトラブルを未然に防止するために、下記の注意事項をお守りください。

## 取扱い上のご注意

ショート・充電・加圧変形・加熱・火中投入・分解は危険ですので絶対おこなわないでください。

電池の $\oplus$   $\ominus$ は正しく入れてください。

他の種類の電池や、使用済み電池と未使用電池を混ぜて使用しないでください。

電池本体への半田付けはしないでください。

2個以上の電池を直列にして使用した場合、電池寿命の末期に極性が逆転する場合があります。その電池が同時に使用していた電池の中で最も早く寿命が尽きたことによるもので、電池の異常現象ではありません。

ボタン形電池は重なり合うと、ショートをして発熱・破裂の危険性と容量の低下を招きます。ご注意ください。

電池のシールを剥がしても使用するまでにしばらく待ち時間が必要です。使用直前にシールを剥がして約30秒待ってから機器に入れてください。

空気中の酸素を吸収して電気エネルギーを発生させます。空気の吸収ができない完全密封タイプの機器では使用できないこともあります。

2～3ヶ月で電池寿命が尽きる用途にご使用ください。それ以上の期間では電池特性を有効に活用できない場合があります。

## 機器および電池を正常に作動させるための注意事項

電池の電圧を測定する時は、測定器の入力抵抗が10MΩ以上のものをご使用ください。

電池の内部抵抗を測定する時は1000MHz交流法の測定器をご使用ください。

電池を機器に入れる前に、乾布等で電池や機器端子をきれいに拭きとってください。

使用済み電池は速やかに機器から取り出してください。

## 保管上のご注意

高温・高湿での保管は避けてください。

電池は湿気を非常に嫌いますので、湿気の低いところや温度変化の少ない乾いたところで保管してください。

シールのある・なしにかかわらず、電池どうしが重なりあったり、硬貨や鍵などの電気を通す金属類に接触したり、水滴がついていると、 $\oplus$ 極と $\ominus$ 極の間に電気が流れ、電池消耗の原因となります。また、数量が多い場合は、**発熱・破裂**に至ることがありますので、ご注意ください。

## 機器設計上のご注意

### 〔機器の電池室〕

電池室は電池が容易に交換でき、且つ、落下しないようにしてください。

電池室の設計時は、電池の寸法や公差等ご配慮ください。

逆装填を防ぐため、電池の $\oplus$   $\ominus$ の形状と公差もご配慮ください。

電池室には、使用する電池の種類と、正しい装填方向(極性)を明示してください。

電池室内の電気回路は、電池の接点接続関係だけにしてください。

接点部を除いて、電池室は電気回路から絶縁してください。

電池室からの万一の漏液による機器側の損傷が最小になるよう、電池室の構造や配置もご配慮ください。

機器に熱源がある場合、電池室は機器の熱源からできるだけ離れた場所に設けてください。



電池室はガスが抜ける構造にしてください。

電池室の材質は、衝撃や環境への影響をご配慮ください。



## (接点)

接点材質には、少なくとも鉄またはステンレスにニッケルメッキしたものをご使用ください。

安定した接触を保つため、接点の接触圧は少なくとも2N～10N(約200～1000gf)を目安にしてください。

端子形状は、  とY形状(2点接触)をご使用になるとより安定した接触が得られます。

## 環境保全のために

使用済みボタン電池は、販売店に回収箱を置いて回収しております。すべての 極と 極をセロハンテープで絶縁してから入れるようご協力をお願いいたします。

## 飲み込み事故防止の注意事項

小型の電池は幼児が口に入れやすく、時には飲み込んでしまう事故が起こるおそれがあります。電池は幼児の手の届かない所においてください。

使用済み電池は、速やかに所定の方法に従って廃棄してください。

万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。